Q8. 疥癬の治療は？

A8. ヒゼンダニを殺すことを目的とした飲み薬や、塗り薬が使われます。

塗り薬は正常なところも含めて塗り残しがないように首から下の全身にくまなく塗りましょう。手の届かないところは塗ってもらいましょう。特に手や指の間、足、外陰部には念入りに塗ってください。また、かゆみに対してはかゆみ止めの薬が処方されます。

疥癬には1〜2か月の潜伏期間がある(Q3)ので、疥癬患者さんの皮膚と自分の皮膚が接触する機会のあった方には、症状がなくても同時に治療を行う場合があります。

疥癬の治療で使う薬

飲み薬

イベルメクチン（製品名：ストロメクトール錠）があります。1回（または2回）の内服で有効であることが報告されています。

塗り薬

フェノトリンローション（製品名：スミスリンローション5%）、イオウ剤、クロタミトンクリーム（製品名：オイラックスクリーム）、安息香酸ベンジルがあります。ただし、安息香酸ベンジルを使う際には、患者さんまたは代理の方の同意が必要です。

※フェノトリンローションとイオウ剤は保険適用薬。クロタミトンは保険適用になっていないが、使用時は保険が適用される。

かゆみ止めの薬

かゆみに対しては、抗ヒスタミン薬の飲み薬を併用します。